

## 事後評価シート

調査研究課題名	運輸分野における個人の財・サービスの仲介ビジネスに係る欧米諸国の動向等に関する調査研究
担当者	研究官 藤家慎太郎
① 当初目標と目標達成度	<p>本調査研究は、運輸分野の仲介ビジネス（ライドシェア、自家用車カーシェア、貨物運搬シェア）を対象に、欧米諸国における動向、法制度の整備・運用状況等の情報収集及び整理を行い、我が国における対応方策の検討に寄与することを目的とする。</p> <p>調査研究の成果として、各国における公共交通等の背景、仲介ビジネスの発展経緯、既存業界の状況、国・地方政府の取組等について文献調査及びヒアリング調査を行い、需要面・供給面、法整備や規制の動向、仲介ビジネスの影響・留意点等様々な情報を収集・整理した。また欧米諸国の仲介ビジネスの動向等を取りまとめることにより、国・地方公共団体・業界等関係者等の理解の増進と対応方策の検討に資するための情報を提供することが可能となった。</p> <p>したがって、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>本調査研究は、国際的な運輸分野の仲介ビジネスの動向等について、各国における仲介ビジネスの展開状況、法制度整備の動向、問題事例等を調査して実態を明らかにするとともに、仲介ビジネスの影響、留意点等について検討を行うものである。平成 28 年度は調査研究の 1 年目であり、先行地域である欧米諸国における運輸分野の仲介ビジネスの動向等について、最新の情報を整理した。国内においても仲介ビジネスに関する論文等は少なく、本調査研究の成果は、我が国における検討にあたって有効な情報を提供し得るものである。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究を進めるにあたり、仲介ビジネスや公共交通に知見を有する学識経験者に有識者として就任頂き、調査研究の進捗の過程において随時ヒアリングを実施し、様々な角度からご助言を頂いた。</p> <p>併せて、欧米諸国において、運輸分野の仲介ビジネスに係る仲介事業者、既存業界団体、所掌する監督機関・担当部署といった多様な主体に対してヒアリング調査を実施し、取得した情報について検討を重ねながら整理した。</p>
④ 成果と活用	<p>研究成果を記した報告書について、当研究所のホームページで広く公表することを予定している。</p>
⑤ その他	<p>平成 29 年度に当研究所が主催する研究発表会において、成果の一部について報告を行った。</p>